



ミライク会議
公式ホームページ
※QRコードはアンソニーウェブの
登録商標です

オンライン開催決定!!

かけがえのない“わたし”を生きる
～ものづくりのまちから発信～



日本女性会議 2020 あいち刈谷

Japan Women's Conference
2020 in Aichi KARIYA

ミライク会議

2020 11/13(金)14(土)15(日)

主催：日本女性会議2020あいち刈谷実行委員会、刈谷市
事務局：愛知県刈谷市市民活動部市民協働課内
〒448-8501愛知県刈谷市東陽町1-1 TEL:0566-95-0002 FAX:0566-27-9652
E-mail:jwc2020aichikariya@city.kariya.lg.jp HP:https://jwc2020aichikariya.jp/

大会プログラム

13日(金)	14日(土)	15日(日)
10:00 オープニング	10:00 分科会 セクション3	10:00 エキシビジョン
10:30 基調講演	13:00 記念講演	
13:00 分科会 セクション1	14:15 記念シンポジウム	
15:00 分科会 セクション2	16:00 エンディング	

～オンライン会議開催にあたって～

「日本女性会議2020あいち刈谷」の申込みパンフレットをお届けいたします。

「日本女性会議」は、男女共同参画に関する国内最大級の会議で、男女平等社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流とネットワークづくりを目的としています。第37回大会である「日本女性会議2020あいち刈谷」は、性別だけでなく、年齢、国籍、働き方、障がいの有無など、様々な立ち位置にいる方々が、それぞれ「かけがえのない」存在として尊重される社会を目指す、「みんなの会議」として企画し、準備をすすめてまいりました。しかしながら3月以来の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で様々な事柄に自粛を余儀なくされる中、全国から多くの方々に集まっていただく会議開催も見直しを迫られることとなりました。

開催の是非についても議論を重ね、6月の実行委員会総会において、コロナ禍の「今」だからこそ、そこで見えてきた「働き方」「家族」「ケア」「暴力」などジェンダー（社会的・文化的性別）にかかわる問題を含めて考えや思いを共有すること、1984年から続いている歩みを受け継ぐこと、昨年、台風19号のため開催中止となった佐野大会の思いを受けとめることも大切と考え、オンラインでの開催を決断いたしました。「ものづくりのまち」刈谷に培われた創意工夫の精神で挑戦を、との思いもあります。

「日本女性会議2020あいち刈谷」は、どなたでも参加できます。コロナ禍の今、アフターコロナの生活も含め、「かけがえのない」一人ひとりが大切にされる社会のあり方を、世代を超えて一緒に考える場にしていきます。

実行委員会一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日本女性会議2020あいち刈谷実行委員会

委員長 山根 真理

大会シンボルマーク



刈谷市の花である「カキツバタ」をシンボルのモチーフに採用し、広がりのある会であることを花で表現しています。花の中央に人が集結したイメージを配しています。

日本女性会議2020あいち刈谷は ミライク (MeLike) 会議!!

- ★みんなのライクを集めて、
未来のライフをクリエイト!
- ★“自分らしさ”が大切にされ、
それぞれが自分の「好き」を実践できる
選択肢の多い未来を目指す。

ミライク会議は、そんな社会を目指す
「みんなの会議」です。

※ミライク会議は、学生ボランティアの皆さんが中心となって考えた、あいち刈谷大会の愛称です。

11月13日(金)

オープニング

10:00~

- 大会長・実行委員長あいさつ
- 前回開催地(栃木県佐野市)からのバトンパスセレモニー

基調講演

10:30~

コロナ禍とジェンダー

新型コロナウイルス感染症をめぐる状況は、今日のジェンダー課題を顕在化し、わたしたちの生活に大きな影響を及ぼしています。一方で、新しい繋がり方、暮らし方、働き方の可能性も見えてきました。基調講演は、日本のジェンダーに関わる思想と運動をリードし続けてこられた社会学者、上野千鶴子さんを講師にお招きし、コロナ禍の中の社会をジェンダー視点で読み解いていただくとともに、コロナ後の社会におけるジェンダー平等の課題について、世代を超えて共有します。



菅野勝男撮影

講師 上野 千鶴子 社会学者・東京大学名誉教授
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長

プロフィール 富山県生まれ。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。1994年「近代家族の成立と終焉」(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞、ほか著書多数。2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」。2019年、フィンランド共和国からHän Honours受賞(長年の男女平等への貢献に対する感謝状)。2020年、「アメリカ芸術科学アカデミー会員」に選出される。

分科会 セクション1 13:00~

分科会 セクション2 15:00~

11月14日(土)

分科会 セクション3 10:00~

記念講演

13:00~

女性が社会を動かすとき —日本骨髄バンクのケースから

講師の大谷貴子さんは、骨髄バンクの必要性を訴え、ゼロから東海骨髄バンクを起ち上げ、日本初の骨髄バンク設立の流れを作り、社会を動かしました。愛知は、骨髄バンクによる初の骨髄移植が行われた地です。社会運動の担い手として今も第一線で活躍する大谷さんから、日本骨髄バンクの設立や運営にあたっての苦労や工夫、運動を通じて得た喜び等について語っていただきます。



講師 大谷 貴子 NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 顧問

プロフィール 大阪生まれ。埼玉県在住。1986年、大学院在学中に慢性骨髄性白血病を発症、88年に名古屋大学医学部付属病院で母親からの骨髄移植を受け完治。自分自身の闘病をきっかけに、骨髄バンクの必要性を痛感。89年に日本初の骨髄バンク、「東海骨髄バンク」を設立。厚生労働省等関係機関に働きかけ、(財)骨髄移植推進財団(日本骨髄バンク)設立の立役者の一人となった。現在、特定非営利活動法人・全国骨髄バンク推進連絡協議会顧問。中日社会功労賞・朝日社会福祉賞受賞。著書に『白血病からの生還—霧の中の生命—増補版』リヨン社、2005年、など。

スポーツから変える世界と未来

「スポーツには世界と未来を変える力がある。」このビジョンをもとに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、多様性と調和の重要性を認識し、共生社会を育む契機となることを目指してきました。未知のウイルスの感染拡大は、性や人種の別なく、人々の健康や生活に影響を与えました。今こそ多様な人々の調和と連帯が求められています。講演では、様々な差別の解消やLGBT支援に関する五輪開催国での取組みについて、40年にわたる五輪取材をもとに振り返り、スポーツを通して互いを尊重する社会について考えます。



講演者・シンポジスト

宮嶋 泰子 スポーツ文化ジャーナリスト

プロフィール 早稲田大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社。日本初の女性スポーツキャスターとなる。その後ディレクター、プロデューサーを兼任し、ニュースステーション、報道ステーションなどで数多くの作品を作成。1980年からの19回の五輪取材と1992年からのパラリンピック取材経験を持つ。国連UNHCR協会理事も務める。日本オリンピック委員会「平成28年女性スポーツ賞」受賞。2020年に一般社団法人カルティベータを設立し、情報発信やアスリートサポートの活動も開始している。



シンポジスト

兼松 由香

2016年リオデジャネイロ五輪ラグビー日本代表

プロフィール 中京大学大学院体育学研究科修士課程修了。現在博士課程在学中。愛知教育大学を卒業後は名古屋で小学校の講師をしながら、愛知県唯一の女子ラグビーチーム「名古屋レディーズ」で練習に励み、ラグビーの15人制・7人制日本代表として数多くの日本・世界大会に出場。ママさんラガーとして活躍した。現在女子ラグビーの歴史に関する研究を続けながらユース世代の選手育成や社会貢献活動をしている。



シンポジスト

堀田 崇

NPO法人LOVELEDGE 理事長・弁護士

プロフィール 明治大学卒業。愛知県で弁護士として活動し、愛知県弁護士会男女共同参画推進本部委員、名古屋市男女共同参画審議会委員等を務める。現在女子サッカークラブ「NGUラブリッジ名古屋」を運営する法人の理事長として、女子サッカーを取りまく状況の改善、人格に優れた文武両道の選手育成をしながら、総合的な女性アスリートの地位向上、女性スポーツのより良い環境づくりを目指している。



シンポジスト

村木 真紀

認定NPO法人 虹色ダイバーシティ代表

プロフィール 京都大学卒業。日系大手製造業、外資系コンサルティング会社等を経て現職。LGBT当事者としての実感とコンサルタントとしての経験を活かして、LGBTに関する調査研究、性的マイノリティに対する適切な情報を伝え、理解者を増やすための支援など社会教育活動を行っている。オリンピック憲章に「性的指向による差別禁止」が明記されていることから、東京五輪開催時には「プライドハウス東京」が開設される。この準備・運営のメンバーでもある。



コーディネーター

來田 享子

中京大学スポーツ科学部教授・同大学院体育学研究科研究科長

プロフィール 専門分野はオリンピック史、スポーツとジェンダー。共編著書「よくわかるスポーツとジェンダー」(ミネルヴァ書房、2018年)で日本スポーツとジェンダー学会・学会賞を受賞。日本スポーツ協会の研究プロジェクト班長として指導者や子どもたちのための「体育・スポーツにおける多様な性のあり方ガイドライン」をハンドブックとして作成。オリンピック開催国で開かれるスポーツ学術会議 The 2020 Yokohama Sport Conferenceの副会長兼組織委員長。

エンディング 16:00~

- 次期開催地(山梨県甲府市)へのバトンパスセレモニー
- 大会宣言

11月15日(日)

大会への参加の有無にかかわらず、
どなたでも無料で参加できます!

エキシビジョン 10:00~13:00

ミライ
若者会議

U-40と考える かけがえのない“わたし”を生きる

男らしく、女らしくではなく“自分らしく”という教育を受ける一方で、「学校で感じなかったジェンダーギャップを社会で感じている」という声もあり、多世代と関わる中でもやもやを抱えている若者がいます。

U-40(30歳代以下)世代が抱える問題意識から、社会全体で多様性推進に関する価値観をアップデートするためにはどんな行動が必要か、オンラインならではの双方向議論で考えていきます。若者のみならず、彼らの考えを知るきっかけとして親世代、祖父母世代からのご参加もお待ちしています!

分科会

申込方法

- ・セクションごとに分科会を1つ選択できます。(最大3つの分科会に参加可能です。)
- ・参加型分科会は、定員制としています。申込手続きの際、すでに定員まで達している場合は、申込みができません。

分科会選択のポイント

運営方法が分科会により異なりますので、以下の色分けを参考にしてください。

- 聴講型** 講演やパネルディスカッションなど、出演者の話を視聴します。
※一部、参加者からの質問・意見などを受け付ける分科会もあります。
※定員はありません。
- 参加型** グループワークなど、参加者が話し合いに参加して、進行します。
※マイク・Webカメラのご準備が必要です。(端末本体にそれらの機器が内蔵されている場合は不要です。)
※定員制のため、ご希望に添えない場合があります。

オンライン会議への参加について

●視聴環境について

日本女性会議2020あいち刈谷(以下「本大会」といいます。)への参加には、①パソコン、タブレット端末及びスマートフォン等の機器と、②インターネットへの接続環境が必要です。視聴に必要なインターネット通信費、回線費等は、参加者のご負担となります。本大会は動画配信となり、データ通信量が多くなることが想定されるため、安定したインターネット環境(WiFi等)のご利用を推奨します。視聴にあたっての困りごとについては、公式ホームページにあるサポートページをご覧ください。お問い合わせフォームからお問い合わせください。

サポートページ
<https://www.jwc2020aichikariya.online/>



●アーカイブ配信について(申込者限定)

本大会期間中に配信するコンテンツは、本大会への申込者に限り、後日、一定期間視聴できるアーカイブ配信を予定しています。ただし、一部対応できないコンテンツもありますので、あらかじめご了承ください。

●その他

- ・配信は最善の準備を行い実施しますが、生配信の特性上、または参加者の環境によっては、映像の途切れ又は停止など、正常に視聴できないことがあります。
- ・本大会が不適切な参加者と判断した場合、退室していただくことがあります。
- ・上記いずれの場合も、参加費の返金はできません。

A

高齢社会

人生100年時代 ～高齢者のつながりづくり～

人生100年時代。寿命は延びたものの、交流する場がない、対人関係がうまくいかないなどの理由で、生きづらさを感じている高齢者が数多くいます。地域社会には、意思決定する場に女性が少ないことなどにより、女性をはじめとする多様な人々のニーズに合った仕組みが整っておらず、選択肢も少ない現状があります。

本分科会では、「コミュニティデザイン」実践者に事例を紹介してもらい、それを手がかりに、高齢社会を楽しく生き生き過ごせるように、男女共同参画の視点に立った新たなつながりや、地域共生について考えます。

出演者		講演、対談
講師	山崎 亮	studio-L代表、コミュニティデザイナー
対談者	吉田 あけみ	相山女子学園大学教授

D

防災

生き抜く防災withコロナ ～アウトドアから学ぶ新しい知恵～

幼いころからの自然体験、防災準備の実際を学ぶことなどは、いざという時にベストを尽くすために大切です。

本分科会は、社会的弱者とされる女性や子どもがいのちをつなぐためのオンライン講座です。クライミング脱出技や古武術の救出法も学びます。

愛知県で活動している防災団体の方も参加し、地域の防災にジェンダー・多様性の視点は活かされているのかについても取り上げます。

出演者		講演、座談会
講師	あんどろ りす	アウトドア防災ガイド
進行	高木 一恵	防災ママかきつばた
ゲスト	荒木 裕子	名古屋大学減災連携研究センター
ゲスト	西尾 實千恵	刈谷市赤十字奉仕団
ゲスト	北島 あや	刈谷防災ボランティア・防災ママかきつばた

他人選中

E

男性にとっての男女共同参画

定員 80人

みんなで語ろう リモート座談会

男らしさ、女らしさとは、一体どのようなことをいうのでしょうか。また、そうした「らしさ」観に世代間のギャップはあるのでしょうか。

本分科会では、まず、刈谷市内の小中高大学生を対象にした男女共同参画に関するアンケート調査の結果を報告し、「仕事も私生活も、よくばろう～Work, Life, Social=ハイブリッド人生のススメ～」と題し基調講演を行います。また、参加者全員でグループワークを行い、性別基準の「らしさ」について考えます。

出演者		報告会、基調講演、グループワーク
講師	川島 高之	NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 NPO法人コチカラ・ニッポン代表理事

11/13金

セクション

1

13:00～

B

多文化共生

多様性を活かした地域づくり ～“多文化”を地域の魅力に!～

外国人住民が増え続けている日本社会では、外国人住民とのコミュニケーションや異なる生活マナーへのお互いの無理解等、共生に向けた課題が顕在化しています。

本分科会では、課題先進地、あいち・刈谷エリアにおける先進的かつ具体的な取り組みを、ジェンダー視点から捉えなおします。外国人住民の中にも性別役割分業や、職業・進路選択におけるジェンダー差等があり、ジェンダー視点は多文化共生を考えるうえでも必須です。外国人住民との対話を通じて、多様な人たちがつながり合う、魅力的な地域づくりには何が必要なのか考えましょう。

出演者		講演、パネルディスカッション
講師	神田 すみれ	愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員
コーディネーター	牧野 佳奈子	一般社団法人DIVE.tv代表理事
パネリスト		外国人住民の皆さん

F

ライフ・ワーク・バランス

一人一人が輝く未来 ～モノづくりの愛知から～

誰もが社会や組織で生涯働く時代へ入りました。その働き方や生き方もさまざまなあり方がでてきて、集団より個人を主体にした価値観も生まれてきています。しかし、ここ愛知は、製造業が集積し、社会・産業・組織においても標準化の意識が根づよく、個性や多様性を活かしたあり方があまり進んでいない状況です。

本分科会では「100人100通りの働き方」をテーマにユニークな取り組みをしているサイボウズ㈱や、愛知での取組事例を紹介しながら「だれもが幸せに活躍する組織、社会とは」をテーマに、聴講者も参画いただきながら、未来志向で考察したいと思います。

出演者		ミニ講演、事例発表、パネルディスカッション
講師	中根 弓佳	サイボウズ株式会社執行役員
コーディネーター	細見 純子	一般社団法人中部品質管理協会経営企画室室長 兼企画部長

他人選中

H

女性が輝けば地域も輝く

定員 80人

わたしが元気に活躍する地域づくり

コロナ感染拡大を受け、全国にある自治会や町内会の多くは、会議や活動の中止・延期を余儀なくされ、参加率の低下や役員の担い手不足などすでに抱えていた課題に加えて、持続困難な状況にあります。

本分科会では、女性役員の活躍により「今必要とされること」を「今できる方法」に活動を転換した事例や組織再編を促した先進的な取り組みを学びます。参加者が自分の所属する地域の現状を把握し、ありたい未来を描き、組織を活性化していくために「今動くべきことは何か」に気づく機会とし、男女共同参画による全国の地域変革を促します。

出演者		講演・グループワーク
講師	川北 秀人	IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表
コーディネーター	岡本 一美	日本福祉大学非常勤講師

C

DV

だまっとれん! コロナ禍でも DVを生み出さない社会へ

DV防止法が制定されて20年。支援の実績は蓄積されてきましたが、残念ながら、支援が未だ必要とする人に届いていないという現状があります。さらに、コロナ禍の外出自粛や休業から、生活不安、ストレスでDVが増加、深刻化しています。

本分科会では、相手との関係性から抜け出すことが難しい被害者が、関係を断ち切り新しい生活を築いていくことができる「これからの支援」について考えます。私達一人一人が「自分ごと」としてDV問題に向き合い、できることは何か、一緒に考えてみませんか?

出演者		講演、だまっとれん座談会
講師	コーディネーター	須藤 八千代
		愛知県立大学名誉教授
講師		増井 香名子
		新見公立大学講師

G

性の多様性

生と性の多様性をみとめあうために ～教育・企業・行政の立場から～

性別についての捉え方や恋愛感情のありようは人によって違います。性を一人一人違うもの(グラデーション)と捉えるなら、性的マイノリティ/マジョリティという線引きをするのも、簡単なことではありません。一人一人異なる、わたしたちの生や性のあり方を互いに認め合うための取組みを、教育、企業、行政のそれぞれの立場から紹介してもらい、それぞれの地域や現場で参考にしてもらおうことを願って、本分科会を企画しました。

生と性の多様性を認め合うための第一歩をとともに踏み出しましょう。

出演者		ミニ講演、パネルディスカッション
講師	コーディネーター	風間 孝
		中京大学教授
パネリスト		浦田 幸奈
		愛知県中学校教員
パネリスト		加藤 聡人
		加藤精工株式会社
パネリスト		樋口 進
		豊明市役所市民協働課

I

子ども・子育て

定員 80人

子どもたちの未来をプロデュースする ～今やるべきこと、今できることをみんなで考えよう～

子どもの未来を語り合しましょう。

コロナ禍で子どもたちの生活は、大きく変わりました。子どもに関する新たな問題も表面化してきています。親や家庭を取り巻く環境、学校、幼稚園や子ども園などのありようも劇的に変化し、支援者も戸惑いを隠せません。今だからこそ語れることも多いのではないのでしょうか? 子どもが育つために私たちはどんなことを整えていってほしいのでしょうか。「生活や暮らし」「子どもの遊び」「コミュニティ」に分かれ、現在の問題点や残していきたいこと、これから構築していくべきことなどをグループで話し合います。最後は皆さんの意見を持ち寄って分かち合います。

出演者		ワールドカフェ形式グループワーク
コーディネーター	永田 雅子	名古屋大学教授
話題提供者	塩之谷 真弓	中部大学准教授
パネリスト		子育てに係わるNPO法人など



日本女性会議 2020 あいち刈谷

参加費

お1人様
一般 2,000円(税込) **学生** **無料**

大会参加費は㈱JTBビジネスネットワークの集金代行です。

申込方法

9/7(月)以降、下記、大会公式ホームページの該当リンクから直接お申込みください。

<https://jwc2020aichikariya.jp/>

※一般と学生とで申込フォームが異なります。



申込から大会参加までの流れ

【参加申込期間(1次申込)】

9/7(月)～
10/18(日)

1次申込特典として大会プログラムを大会開催前までに郵送いたします。(一般の申込者に限ります。)

【2次申込】

～11/6(金)

大会プログラムは電子データでの提供となります。

10/18(日)までに
参加費を納入してください。

参加費の納入が確認できた方から、大会の参加に必要な事項をメールにてお送りします。

10/30(金)までに
大会の参加に必要な事項を
メールにてお送りします。

大会開催前までに
視聴テストをお願いします。

11/13(金)～15(日)
日本女性会議2020あいち刈谷に参加

1次申込締切日 2020年10月18日(日)

2次申込締切日 2020年11月6日(金)

〈支払方法について〉

支払方法はクレジットカード決済、またはコンビニ支払い、インターネットバンキング/ペイジー支払い、銀行振込にてお願いします。
※クレジットカード決済以外の方法につきましては、別途手数料が加算されますので、あらかじめご了承ください。

〈変更・取消について〉

一般申込について、10/18(日)までは申込フォーム上での変更・取消が可能です。期日以降の変更取消につきましては、下記「株式会社JTBビジネスネットワーク 法人事業部 名古屋営業所 中部MICEセンター」までご連絡ください。

〈取消料について〉

代行收受(大会参加費)	10月18日まで 無料	10月19日～大会当日 100%
-------------	-------------	------------------

大会報告書

講演やシンポジウム、分科会等の要約を取りまとめた大会報告書を、ウェブ上で公開します。公開時期は、2021年3月を予定しています。
※冊子化した報告書の販売はありません。

参加手続きについてのお問合せ先

株式会社JTBビジネスネットワーク 法人事業部 名古屋営業所 中部MICEセンター
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-16-30 東海ビルディング5階
TEL : 052-446-5099 FAX : 050-3730-4343 E-mail : cub_mice@jbn.jtb.jp
営業時間/月～金曜 10:00～17:00 土・日・祝祭日は休業

Code for AICHI (コード・フォー・アイチ)

E-mail : code4aichi@gmail.com

※サポートページのからのお問い合わせ : <https://www.jwc2020aichikariya.online>

オンライン開催に関するよくあるご質問

詳細は、サポートページからご覧いただけます。



▲サポートページ

Q. そもそもオンライン開催ってどういうこと?

講演や分科会などをインターネットを利用してウェブ上で行います。インターネットにつながる環境さえあれば、どこにいても、誰でも参加することができます。

Q. ただ画面を見ただけ?

企画内容によっては、他の参加者とグループワークをしたり、チャット機能を使って質問したり感想を述べるなど双方向でのコミュニケーションも可能です。

Q. 初めてで操作や視聴方法が不安...

オンラインに慣れない方のために、サポートできる体制を整えております。お困りごとがありましたら、上記サポートページからお気軽にお問い合わせください。

Q. 複数人で一緒に見てもいい?

複数人で視聴の際は、各自の責任の下、3密を避けるなど各地の状況に応じた感染症対策の徹底をお願いします。なお、その場合も視聴参加する人数分のお申込みが必要です。

創業から続く繊維機械事業を原点に、
自動車や産業車両、物流ソリューションへと、
人々の暮らしを豊かにする事業に挑戦してきました。
これからも新たな領域に挑み、
温かい社会づくりに貢献する企業であり続けます。



豊田自動織機

www.toyota-shokki.co.jp



DENSO
Crafting the Core

クルマの中から、
みんなを笑顔に。



AICHI STEEL

木と人の家具
karimoku



SANYO

the excellent stamping company
株式会社 三陽製作所



OKUNO
INDUSTRY
奥野工業株式会社

KAKUBUN

KCC
豊かな社会づくりに貢献する
新潟川辻木コンサルタン

EARISU
AUTO TECHNO

刈谷商工会議所女性会
TEL: 0566-21-0370
URL: http://woman.kariya-cci.or.jp/index.html

刈谷商工会議所青年部
TEL: 0566-21-0370
URL: http://kariya-yeg.jp/

株式会社
キタヤマ不動産

NGI KATCH
株式会社 キャッチネットワーク

こうしん介護タクシー

株式会社 光生
株式会社 光生

サンエイ株式会社

三栄電機株式会社

株式会社 サンスタッフ

Pasco

城東電機株式会社

CINCA
株式会社 シンカ

Sugi Techno Co.,Ltd

株式会社 スポーツマキシメント

白半建設株式会社

碧海信用金庫

愛知県厚生事業団

株式会社 浅川信州造園土木

株式会社 アシタ

株式会社 希川呉服店

市川商事株式会社

株式会社 魚国総本社

株式会社 ウサミ建工

小林クリエイト

小舟 Garden Co., Ltd.

近藤工業株式会社

栄熱処理工業株式会社

三基工業株式会社

株式会社 CNK

TSUKASA
株式会社 司開発株式会社

TSUDA
津田工業株式会社

株式会社 東陽

たまりしょうゆ 製造・販売
株式会社 中川製油株式会社

家を建てるなら
早川建設株式会社

株式会社 早川建設株式会社

株式会社 早川建設株式会社

東洋衛生株式会社
太田商事株式会社
株式会社 神原刈谷支店
株式会社 中京スポーツ施設
株式会社 デック
株式会社 三菱UFJ銀行

アイシン開発株式会社
岡田行政書士事務所
三京アムコ株式会社
株式会社 辻村刈谷
富川建設株式会社
株式会社 ミワテック

池田工業株式会社
株式会社 おたより
株式会社 タイガーサッシュ製作所
株式会社 ツルタ製作所
日本超硬株式会社
やはぎ会

エアー工房有限公司
キッチンスタジオクック
知多高圧ガス株式会社
DCMカーマ株式会社
プランエイチ株式会社
リ・ライフ株式会社

エアー工房有限公司
キッチンスタジオクック
知多高圧ガス株式会社
DCMカーマ株式会社
プランエイチ株式会社
リ・ライフ株式会社